

# 3章 スイッチON磯子の進め方

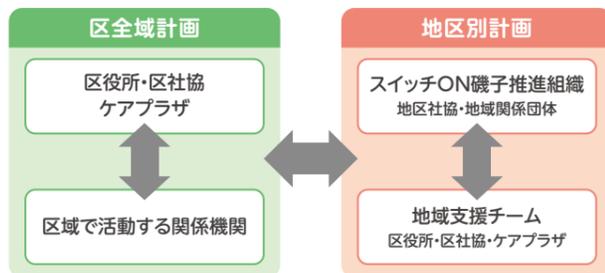
## (1) 計画の推進体制

区全域計画は、区役所・区社協・ケアプラザが、区全域を対象とした関係機関等、様々な団体と連携しながら推進していきます。

地区別計画は、地区連合町内会単位で、スイッチON推進組織のメンバーが中心となり地域関係団体等と連携しながら推進していきます。

各地区を区役所・区社協・ケアプラザで構成される地域支援チームが支援していきます。

【スイッチON磯子 推進体制 全体像】



### 区全域計画の推進体制

#### ●推進主体

磯子区に関わる一人ひとり(私たち一人ひとり、地域や仲間)ができることを取り組むのはもとより、区役所・区社協・ケアプラザと、区域で活動する関係機関と連携して取組を推進します。

#### 区役所

区全域計画の策定・推進の中心的な役割を担います。推進にあたっては、個別支援を通して把握した地域の課題や潜在的な課題も意識しながら取組を進めます。また、部や課を越えた連携による分野横断的な「地域と向き合う体制<sup>\*</sup>」を整備し、地区別計画の策定・推進等の地域支援に取り組みます。

\*地域のワンストップ窓口として、区役所職員が各地区を担当する体制(地域協働推進員)

#### 区社会福祉協議会(略称:区社協)

社会福祉法に基づいた民間法人で、地域福祉に関わる様々な施設や団体等により構成されている「協議会」です。「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」ことを活動理念としており、「地域活動計画」を策定しています。地域福祉保健計画は、区社協の「地域福祉活動計画」としての性格を持っています。

区社協は、地域の福祉活動を応援するためのネットワークづくりや研修、活動への助成、ボランティアのコーディネート等のほか、個別の相談やサービス(権利擁護事業、移動情報センター、生活福祉資金等貸付)を行っています。

民間としての「自主性」と多くの人に支えられている「公共性」を併せ持っており、活動の財源には、会員からの会費や地域住民からの寄付である共同募金配分金などが生かされており、また多くの活動が地域のボランティアの皆さんに支えられていることが特徴です。民間団体である強みを生かし、多様なネットワークをつくり、地域づくりを進めていきます。

#### 地域ケアプラザ(略称:ケアプラザ)

「地域の身近な福祉・保健の拠点」として、地域住民の福祉・保健活動やネットワークづくりや、住民主体による支えあいのある地域づくりを支援します。地域の中での孤立を防ぎ、支援が必要な人を把握し、それぞれの専門性を生かして総合的に支援していくとともに、地域の課題を明らかにして、地域住民とともに解決に取り組みます。

地域活動交流コーディネーターは、住民主体の地域づくりを関係機関と連携して支援します。生活支援コーディネーターは、高齢者が地域で暮らし続けるための地域づくりを支援します。主任ケアマネージャー・保健師等・社会福祉士(地域包括支援センター)は、地域住民の保健医療の向上と福祉増進をめざし、包括的かつ継続的に心身の保持及び生活の安定のために必要な支援をします。

## 区域で活動する関係機関

各施設の二次元コードは令和8年3月時点のもの

### ① 磯子区地域子育て支援拠点 いそピヨ 住所 森 1-7-10 トワイシア横濱磯子2階 TEL 750-1322

就学前の子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う子育て支援の拠点で、利用登録のうえ、無料でご利用いただける施設です。妊娠中の方とそのパートナーも利用できます。また、地域で子育て支援に関わる方のサポートなども行います。



### ② 磯子区基幹相談支援センター 住所 杉田5-32-8 1階 TEL 778-6635

障害福祉についての総合相談センターです。障害のある方が住み慣れた地域でその人らしい暮らしができるよう、様々なサポートをしています。身体・知的・精神の障害、高次脳機能障害、発達障害、難病の人、また障害者手帳を持っていない人も相談できます。

### いそご地域活動ホームいぶき 住所 杉田5-32-15 TEL 778-1228

障害のある方のデイサービスやショートステイの他、子どもたちが遊べるおもちゃ文庫、誰もが使える地域交流コーナー、喫茶コーナーがあります。その他、より暮らしやすい地域づくりを目的として、秋には大きなイベント「いぶきまつり」を開催しています。



### ③ 磯子区生活支援センター 住所 森4-1-17 3階 TEL 750-5300

精神障害のある方々の地域生活を支援するとともに、ご家族への支援、地域への働きかけをしています。



### ④ いそご多文化共生ラウンジ 住所 磯子3-4-23 浜田ビル3階 TEL 367-8492

外国人市民の方が抱く暮らしに関わる質問や相談、自治会町内会や学校等からの多文化共生に関する相談等を受けています。また、外国人と日本人の交流イベントや異文化紹介イベント、外国につながる子どもたちへのサポート等、多文化共生につながる取組を行っています。



### ⑤ いそご区民活動支援センター 住所 磯子3-5-1 7階 TEL 754-2390

市民活動やボランティア活動、生涯学習活動を行っている方、これから始めようという方を応援します。何かをやりたい、始めたいという方の相談、情報の提供と発信、スキルアップ講座などを通じて、市民活動・地域活動を支援しています。



### ⑥ 横浜市社会教育コーナー 住所 磯子3-6-1-1 TEL 761-4321

生涯学習・社会教育の推進のため、自主事業の企画・実施や情報提供、相談対応、場の提供を行っています。生涯学習・社会教育関係職員の人材育成のため、研修の企画・実施、相談対応といった業務を行っています。



### ⑦ 磯子区在宅医療連携拠点 相談室かけはし 住所 磯子1-3-13 磯子区医師会訪問看護ステーション内 TEL 330-0855

区民の皆様が住み慣れた地域で、安心して自分らしい療養生活が送れるよう、医師会と区役所で連携しながら、在宅医療や介護に関する相談・支援業務や医療連携、啓発事業等を実施しています。



### ⑧ 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター TEL 330-9966

医療・福祉・教育等の専門的な研修を修了した訪問看護師が、医療的ケア児・者等とそのご家族、地域の支援者や関係機関とのつなぎ役となり、在宅生活に必要なサービス等を適切に受けることで、安心して生活ができるように支援しています。





## (2) 計画の振り返り

### 区全域計画

#### ●区役所・区社協・区内各ケアプラザの取組の評価

それぞれ年度ごとに「第2章(P15～)」に掲載している事業を中心に振り返りを行い、量的及び質的な自己評価を行います。

◆量的評価は、「活動指標」を用いて振り返ります。

活動指標一覧(再掲)

基本目標	活動指標	現状値(R6)	めざす方向性
I	多文化共生ラウンジ利用者数	3,857人	↗
	Sundayいそピヨで開催している講座などの参加者数	—(※)	↗
	福祉教育 実施数	16講座	→
	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	23,312人	↗
	同じ悩みを持った人が集まる場の開催数	159回	→
II	フレイル予防サポーター登録者数(累計)	38人	↗
	ボランティア登録数	260人 48グループ	→
	世代や障害の有無に関わらずできる健康づくりの取組数	72回	→
	出張健康づくり応援隊 参加人数	350人	↗
	地域主催の講座等での情報提供の回数	184回	→
III	民生委員・児童委員による高齢者等の訪問件数	34,841人	→
	ボランティア派遣人数	237人	↗
	「災害に備えて3日以上防災備蓄を行っている」回答した人の割合	—(※)	↗
	社会福祉法人、福祉施設等の参加団体数	—(※)	→
	タクシー会社等との連携による移動支援件数	2地区	→
	寄付団体数	85件	↗
	ボランティアの交流の回数	52回	→

◆活動指標の評価になじまないものについては、質的評価を行います。 ※令和7年度の実績を現状値とします。

#### ●策定・推進検討会への報告

区役所・区社協・ケアプラザによる自己評価は、毎年度策定・推進検討会にて報告し、公表します。検討会での意見を踏まえ、計画推進を図ります。

### 地区別計画

地区別計画は、地域の皆さんが推進し、成果を残すことだけでなく、たくさんの方が参加して取組を進めていくことが大切です。また、取組を振り返ることは活動の内容や成果を認識でき、モチベーションを高めるとともに、振り返りの中での気づきを次に生かすことができます。

以上のことから、第5期計画では、新たに次の4つの視点をもって計画を推進し、振り返りを行っていきます。

#### 視点 ① たくさんの方に取組を知ってもらえたか

まずは、自分が住む地域にどんな取組があるのか知ってもらうことが、参加してもらうための入口であるという観点から、「どのようにすれば多くの人に知ってもらえるのか」「情報が届くのか」といった視点で振り返ります。

#### 視点 ② たくさんの方が参加したか

「これまであまり地域活動に出てこなかった人も参加したか」「地域みんなで積極的に取り組めたか」といった視点で振り返ります。

#### 視点 ③ 様々な人と協力できたか、一緒にできたか

「いろいろな人や団体と連携して、一緒に取り組めたか」という視点で振り返ります。

#### 視点 ④ 地域にどのようなメリットがあったか

地域福祉保健の活動・取組の成果は数値で表しにくく、客観的に把握することが難しい面もあります。そのため、「地域にとってどのような良いことが起こったか」という視点で、具体的に振り返ります。

全体振り返り(区全域計画+地区別計画)

第5期計画の区全域計画・地区別計画を総合した進捗状況を把握するため、今後実施する「磯子区民意識調査」等で、次の評価指標の現状値が、目標値に対してどのように変化したかを確認します。

令和8年度に区民意識調査(予定)を実施し、その後も同じ指標で調査することにより、経年変化がわかるようになります。

指標	目標	把握方法	目標値
相互理解が進んでいる割合	I	区民意識調査など	R8年度調査より上昇
地域に愛着を持っている人の割合	I	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
地域活動に参加している人の割合	II	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
主観的な健康状態	II	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
困ったときに地域で相談したり助けあったりする人の割合	III	区民意識調査など	R5年度調査より上昇
地域とNPO法人、企業などが連携した取組の実施数	III	区社協把握数	R8年度より上昇



区民一人ひとりと地域の皆さん、区役所・区社協・ケアプラザなどの公的機関がそれぞれできることを取り組んだ結果、基本目標にどれだけ近づいたか調査して、共有するよ!

# 4章 資料編

## (1) 策定の経過

		区計画	地区別計画
令和6年度	6月～10月	グループインタビュー (高齢・子ども・健康づくり・障害者等の分野別団体:12団体、9地区計179名参加) ボランティアグループ・当事者団体アンケート:29団体 広報よこはま磯子区版での区民アンケート:179名	
	7月	策定・推進検討会(第1回) 【策定の進め方の共有】	
	10月	策定・推進検討会(第2回) 【第4期計画振り返り結果の共有・第5期計画 骨子(たたき台)の検討】	
	2月	策定・推進検討会(第3回) 【第5期計画 素案の方向性の検討】	
	2月～3月		キックオフ会議
	令和7年度	5月	地区別計画策定に向けた座談会
6月～			ワークショップ
7月		策定・推進検討会(第4回) 【第5期計画 素案(たたき台)の検討】	
10月		策定・推進検討会(第5回) 【第5期計画 素案の検討】	
11月		区民意見募集	
12月			地区別計画確定
2月		策定・推進検討会(第6回) 【区民意見募集を踏まえた第5期計画(案)の検討】	
3月		第5期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」確定	

### ●区民意見募集

実施期間:令和7年11月1～30日(ご意見総数:44件)  
いただいたご意見は、計画に反映したほか、関係部署・機関・団体と共有しました。



ワークショップの様子